

各地の話題 大 崎 市

「夫婦で”生き方”届けたい」 消費者交流に力

2025 年 9 月 19 日号掲載



「農産物をただ売るのではなく、一緒に自分たちの考え方や生き方も届けたい」。そう語るのは、大崎市岩出山地区で「よっちゃん農場」を夫婦で営む高橋道代さん。東日本大震災をきっかけに地域の価値を見直し、直売や出店販売を続けるほか、地元産の唐辛子やタケノコを活かした加工品や弁当を手がけている。

「自分たちは何を大事にして生きていきたいか」を念頭に、地域に根ざした暮らしを形にしてきた。「大変なことはあっても、顔の見える関係を築くことに意味がある」と高橋さんは直売や出店販売を続ける。「農業が売るためだけでなく、暮らしそのものを伝える手段になると思っている」と笑って語る高橋さん。志を共にする夫とともに、「暮らしごと伝える農業」を日々、形にしている。

高橋さん（左）と夫の博之さん



【記事提供】 大崎市農業委員会